

科目名	文化人類学入門				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	文化学部	配当年次	1 年次
教員名	ラミRez 亜望			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

授業概要／Course outline

本講義では、異なる文化のあり方を検討する。諸社会の文化的実践からは、私たちが「当たり前」だと考えてきたことが、実は社会的・文化的に作り出されていることに気づく。こうした異文化の事例から、受講生が当然と思い込んでいる自身の日常や常識に再考を迫る。そして、文化の多様性を理解し、批判的に検討するという、今後のあらゆる場面で重要となる素養を獲得することを目指す。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

授業内容・授業計画／Course description・plan

文化人類学は異なる文化の人々の生活を知ること、諸社会の共通性および多様性を探求する学問である。本科目では、家族、親族、エスニシティ、グローバル化、観光などのテーマを取り扱い、日本の内外の様々な社会への理解を深めていく。それと同時に、自らの「当たり前」を見つめ直し、文化人類学的なものの見方を獲得することを目指す。

第1回 「文化」とは何か

授業の概要と授業の進め方のガイダンス

文化人類学で対象となる「文化」とは何かを、日常使われる「文化」との違いに留意しながら理解する。

第2回 文化人類学の方法論

文化人類学のフィールドワークの方法を理解する。

第3回 生業

諸社会の人々が生きるためにどのような仕事をしているのかを理解する。

第4回 経済と文化

お金だけでなく贈り物が社会にとって重要であることを理解する。

第5回 生殖と家族

生殖と親子の概念の多様性を知る。

第6回 家族と親族

親族のたどり方を理解する。

第7回 ジェンダーとは何か

性が社会的・文化的に構築されることを理解する。

第8回 人種とは何か

人種主義の問題について理解し、我々の周りにある人種差別について理解する。

第9回 民族とエスニシティ

民族やエスニシティという言葉の意味を理解する。

第10回 法と秩序

法やルールが社会や文化とどのように関わり、社会の秩序を保っているかを学ぶ。

第11回 人とモノの移動

グローバルな人とモノの移動の現象を理解する。

第12回 観光と文化

観光によって文化がいかに作りだされるのかを理解する。

第13回 先住民とは誰か

先住民とは何かを理解し、日本の先住民について説明できる。

第14回 まとめとテスト

第1回から第13回までの内容について試験を実施する。(60分間)

試験実施後は、再度要点の確認とまとめを行う。(30分間)

★オンデマンド テーマ：テストの解説

第14回目のテスト実施後1週間以内にテストの解説動画を配信する。(約90分)

事前・事後学修／Preparation and assignments

事前・事後学習は、各回合わせて4時間を目安とする。

第1回 「文化」とは何か

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「I 文化人類学とは」「II 言語と文化／社会」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第2回 文化人類学の方法論

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「XIX フィールドワーク」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第3回 生業

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「III 生業」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第4回 経済と文化

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「IV 経済と文化」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第5回 生殖と家族

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「V 性と婚姻」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第6回 家族と親族

事前学習：掲載した資料に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる。（参考書 「VI 家族と親族」）

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第7回 ジェンダーとは何か

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「VII ジェンダーとセクシュアリティ」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第8回 人種とは何か

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「VIII 人種とは何か」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第9回 民族とエスニシティ

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「IX 民族とエスニシティ」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第10回 法と秩序

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「X 法律・秩序・社会統制」「XI 政治と権力」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第11回 ヒトとものの移動

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「XV 人とモノの移動」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第12回 観光と文化

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「XVI 観光と文化」「XVIII 民族誌と文化の表象／展示」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第13回 先住民とは誰か

事前学習：掲載した資料や参考書に関して、分からない語句を調べ、疑問点をまとめる（参考書 「XVII 先住民」）。

事後学習：講義の内容をまとめて、ミニッツノートに取り組む。興味のある点に関して授業で取り上げた参考文献を読む。

第14回 まとめとテスト

事前学習：テストに向けて、授業内容をまとめる

事後学習：テストで記述した内容をまとめる。

★オンデマンド テストの解説

事前学習：テストで自分が記述した内容を評価する。

事後学習：動画を踏まえて、自分の解答を振り返る。

授業の到達目標／Expected outcome

人類や文化の多様性に対して深い理解を獲得する。

異文化の事例について、安易な受容や拒絶に陥ることなく、論理的に検討することができる。

履修上の注意／Special notes, cautions

講義に出席した上でミニッツノートを提出すること。不正が発覚した場合は、評価の対象から外す。

詳しくは初回の講義で説明する。

評価方法／Evaluation

平常点（授業への積極的な関与、ミニッツノート） 45%、最終テスト 55%

ミニッツノートは、よく書けているものや議論の的を射た質問については、次の講義の際、匿名で取り上げる。

教 材／Text and materials

教科書は特に指定しない。

参考書は以下のとおり。その他適宜授業中に紹介する。

綾部恒雄、桑山敬己 編 2025『よくわかる文化人類学〔第3版〕』ミネルヴァ書房

質問や相談の方法／Instructor contact

連絡先 : amnv13@gmail.com

授業に関する質問や相談は、講義の前後に伝えてください。または、メールをお送りください。